

洋上風力発電の導入促進に向けた最近の状況

令和6年1月31日
国土交通省 港湾局

日付	主な動き	対応ページ
令和5年 11月15日	第24回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催	2
11月17日	「青森県沖日本海(南側)」、「山形県遊佐町沖」の海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域に係る公募占用指針(案)についてパブリックコメントを実施(～12月17日)	5・6
12月13日	「秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖」、「新潟県村上市及び胎内市沖」、「長崎県西海市江島沖」における洋上風力発電事業者を選定	4
12月25日	第25回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催	2
令和6年 1月 1日	石狩湾新港内の洋上風力発電が運転開始 【秋田港内・能代港内に続き、我が国2カ所目となる商業ベースでの大型洋上風力発電の運転開始】	3
1月19日	「青森県沖日本海(南側)」、「山形県遊佐町沖」において、再エネ海域利用法に基づく発電事業者の公募を開始 (公募×切:令和6年7月19日、事業者選定:令和6年12月)	5・6
1月26日	第26回 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会を開催	2

○「港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会」を令和5年11月以降3回開催し、「青森県沖日本海(南側)」、「山形県遊佐町沖」の海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域に係る公募占用指針(案)、促進区域指定ガイドラインの改定に係る論点、洋上風力のEEZ展開へ向けた論点等について審議した。今後も洋上風力発電の導入促進に向けて引き続き開催予定。

開催概要

第24回 洋上風力促進小委員会

日時: 令和5年11月15日(水) 14:00~17:00

議題: (1)「青森県沖日本海(南側)」、「山形県遊佐町沖」の海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域に係る公募占用指針(案)について
 (2)セントラル方式運用方針の策定、促進区域指定ガイドラインの改定に係る論点について
 (3)洋上風力のEEZ展開へ向けた論点について

第25回 洋上風力促進小委員会

日時: 令和5年12月25日(月) 10:00~12:00

議題: 洋上風力のEEZ展開へ向けた論点について

第26回 洋上風力促進小委員会

日時: 令和6年1月26日(金) 10:00~12:00

議題: 洋上風力のEEZ展開へ向けた論点について

※第24~26回は全て「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／

電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 洋上風力促進ワーキンググループ」との合同会議として開催

委員

(五十音順・敬称略)

<交通政策審議会 港湾分科会 環境部会 洋上風力促進小委員会>

同志社大学大学院ビジネス研究科 教授

大串 葉子

中央大学研究開発機構 客員教授

片石 温美

東京大学大学院工学系研究科 教授

加藤 浩徳

東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科 教授

菊池 喜昭

横浜国立大学 名誉教授、放送大学 名誉教授、
神奈川大学 海とみなと研究所 上席研究員

來生 新
(委員長)

<総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会／
電力・ガス事業分科会 再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会 洋上風力促進ワーキンググループ>

東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授

飯田 誠

東京大学大学院工学系研究科 教授

石原 孟

外苑法律事務所 パートナー弁護士

桑原 聡子

株式会社日本政策投資銀行 常務執行役員

原田 文代

武蔵野大学経営学部経営学科 特任教授

山内 弘隆
(座長)

石狩湾新港における洋上風力発電プロジェクトの概要

- 石狩湾新港内における洋上風力発電プロジェクトは、8MW機を14基設置し、発電容量約11.2万kWとなる着床式洋上風力発電所を建設・運転・保守するもの。
- 我が国2カ所目となる商業ベースでの大型洋上風力発電事業として、令和6年1月1日より運転開始。
- 石狩湾区域特有の軟弱地盤特性と、国内作業船の施工能力、経済性の総合的判断から、基礎形式はジャケット式を採用。

<プロジェクト概要>

事業会社 : 合同会社グリーンパワー石狩
 所在地 : 北海道 石狩湾新港 港湾区域内
 発電容量 : 約11.2万kW (着床式)
 (8MW機 : 14基)
 運転開始 : 令和6年1月1日
 売電期間 : 20年間

完成風車(令和5年10月)



写真提供: 石狩湾新港管理組合

風車建設時の様子(令和5年7月)



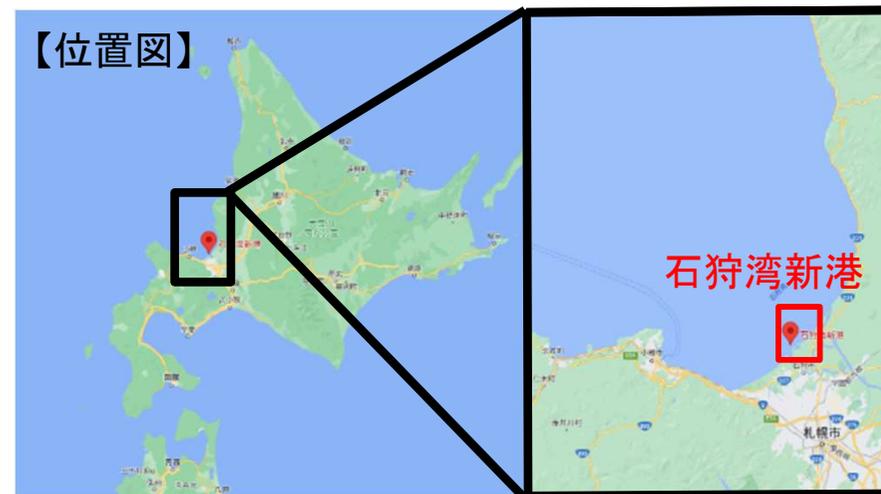
写真提供: (株)グリーンパワーインベストメント

北九州港におけるジャケット
製作作業状況(令和4年7月)



写真提供: (株)グリーンパワーインベストメント

【位置図】



再エネ海域利用法に基づく事業者選定の状況

○令和5年12月13日、再エネ海域利用法に基づく海洋再生可能エネルギー発電設備整備促進区域である「秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖」、「新潟県村上市及び胎内市沖」、「長崎県西海市江島沖」における選定事業者として、それぞれ、「男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energyコンソーシアム」、「村上胎内洋上風力コンソーシアム」、「みらいえのしまコンソーシアム」を選定した。

秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖 (令和5年12月13日選定)

選定事業者(コンソーシアム)

男鹿・潟上・秋田Offshore Green Energyコンソーシアム
 構成員: (株)JERA、電源開発(株)、伊藤忠商事(株)、東北電力(株)

事業計画概要

発電設備: 着床式洋上風力発電
 発電設備出力: 31.50万kW
 (1.50万kW × 21基、Vestas製)
 運転開始予定時期: 令和10年(2028年)6月30日
 供給価格: 3円/kWh (ゼロプレミアム水準)

秋田県八峰町及び能代市沖

事業者の審査・評価中(令和6年3月公表予定)

長崎県西海市江島沖 (令和5年12月13日選定)

選定事業者(コンソーシアム)

みらいえのしまコンソーシアム
 構成員: 住友商事(株)、東京電力リニューアブルパワー(株)

事業計画概要

発電設備: 着床式洋上風力発電
 発電設備出力: 42.0万kW
 (1.50万kW × 28基、Vestas製)
 運転開始予定時期: 令和11年(2029年)8月31日
 供給価格: 22.18円/kWh

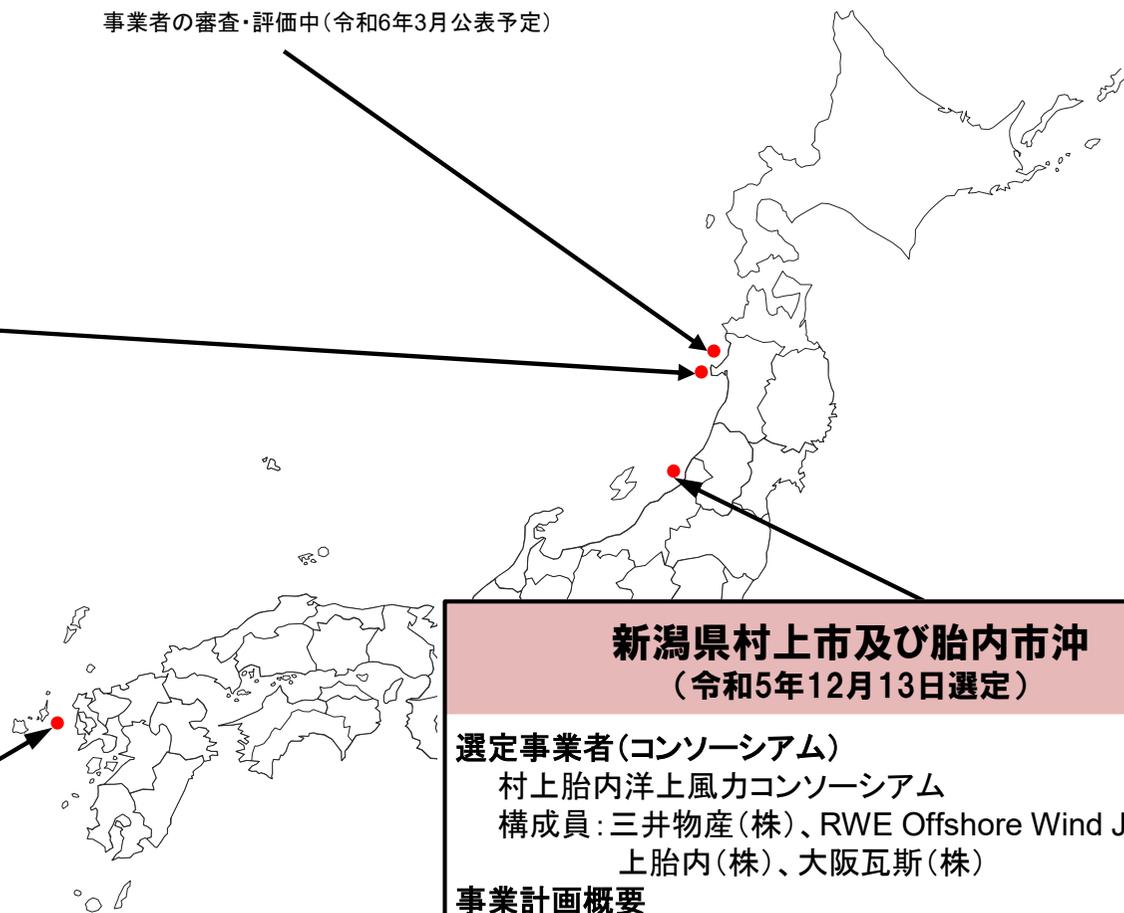
新潟県村上市及び胎内市沖 (令和5年12月13日選定)

選定事業者(コンソーシアム)

村上胎内洋上風力コンソーシアム
 構成員: 三井物産(株)、RWE Offshore Wind Japan村上胎内(株)、大阪瓦斯(株)

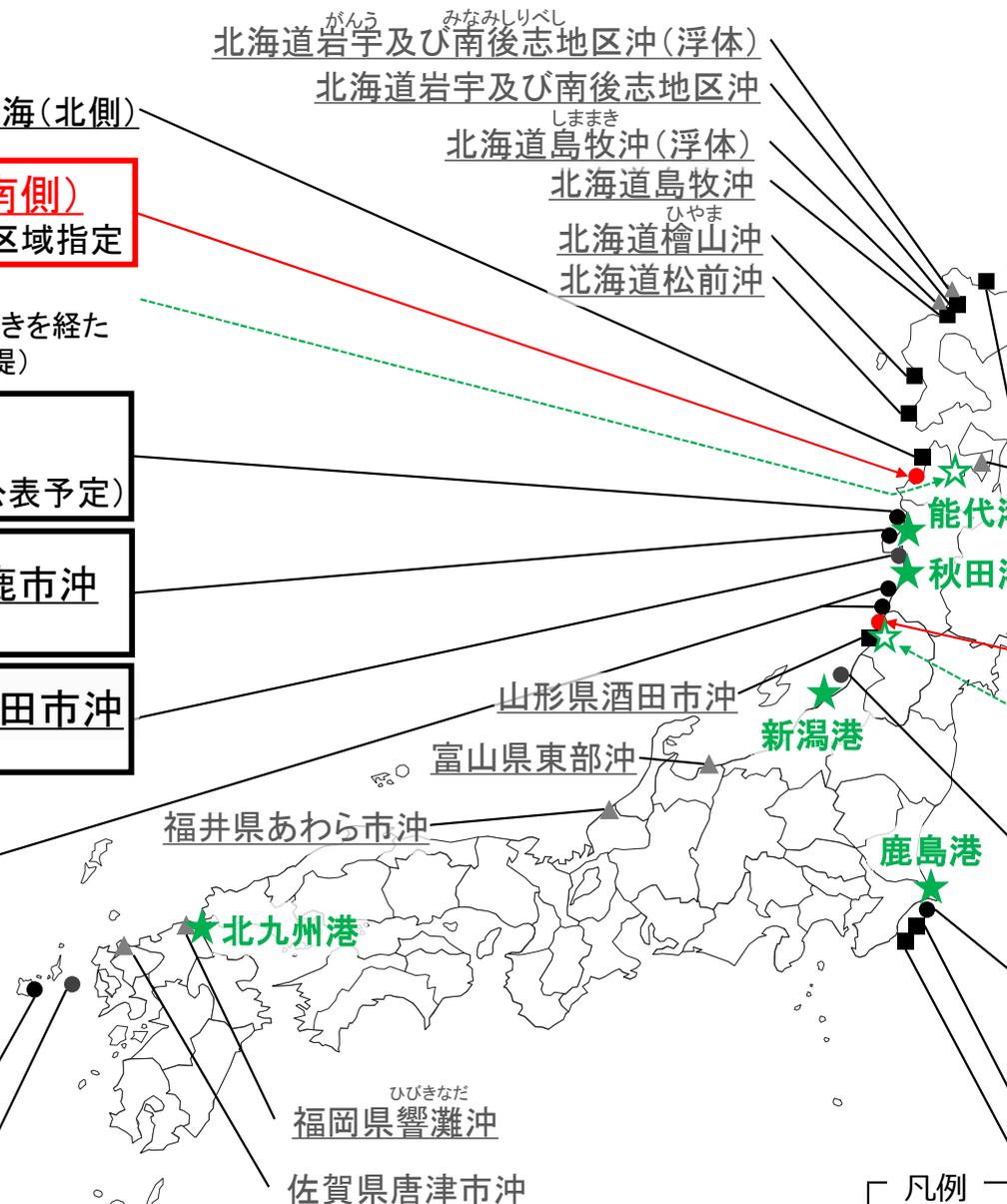
事業計画概要

発電設備: 着床式洋上風力発電
 発電設備出力: 68.4万kW
 (1.80万kW × 38基、GE製)
 運転開始予定時期: 令和11年(2029年)6月30日
 供給価格: 3円/kWh(ゼロプレミアム水準)



再エネ海域利用法に基づく事業者公募の開始について(令和6年1月19日開始)

(参考)
 ・事業者選定済/審査・評価中の海域 …約3.5GW(9区域)
 ・**今回の公募対象海域**…約1.1GW(2区域)
 ・政府の導入目標 …合計5.7GWの稼働(2030年度)



青森県沖日本海(南側)
 令和5年10月3日 促進区域指定

青森港の活用を予定
 (事業評価に係る所定の手続きを経た後、予算措置されることが前提)

秋田県八峰町及び能代市沖
 事業者の審査・評価中(令和6年3月公表予定)

秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖
 令和3年12月24日 事業者選定

秋田県男鹿市、潟上市及び秋田市沖
 令和5年12月13日 事業者選定

秋田県由利本荘市沖(北側)
 秋田県由利本荘市沖(南側)
 令和3年12月24日 事業者選定

山形県遊佐町沖
 令和5年10月3日 促進区域指定

酒田港の活用を予定
 (事業評価に係る所定の手続きを経た後、予算措置されることが前提)

新潟県村上市及び胎内市沖
 令和5年12月13日 事業者選定

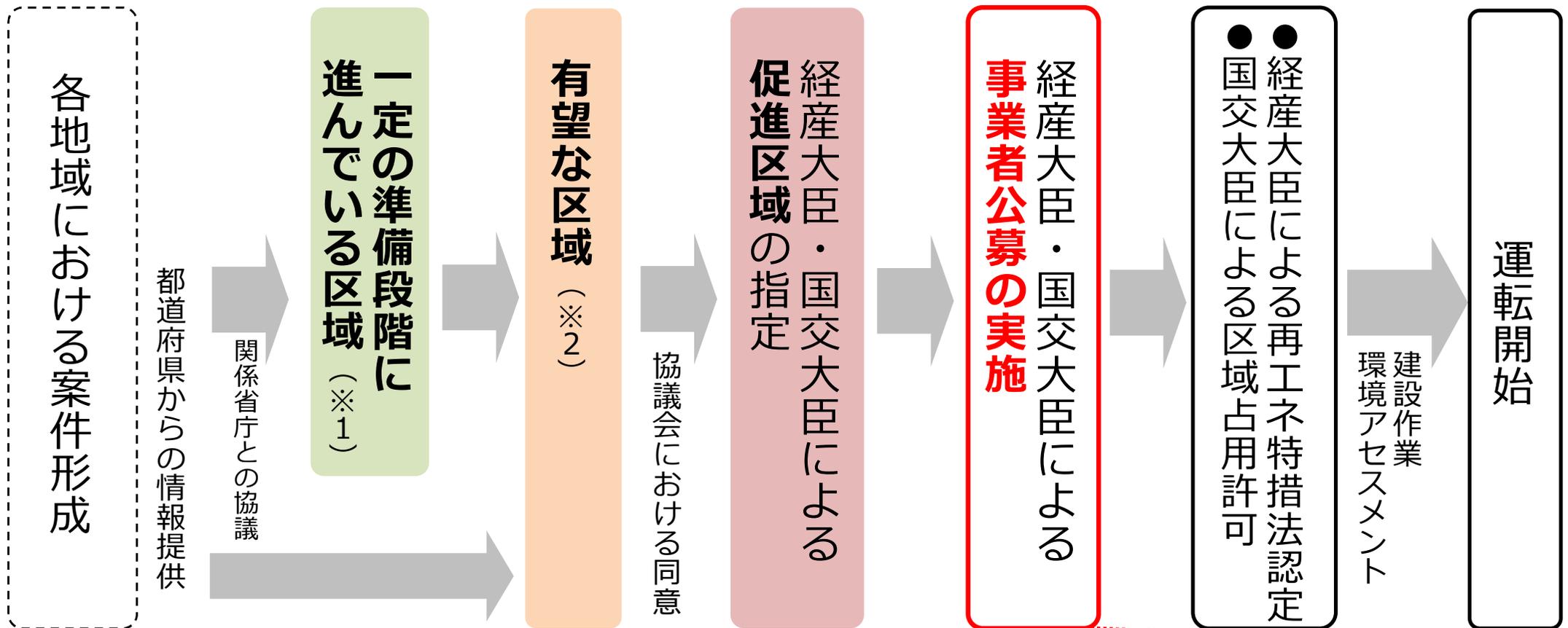
千葉県銚子市沖
 令和3年12月24日 事業者選定

長崎県五島市沖
 令和3年6月11日 事業者選定

長崎県西海市江島沖
 令和5年12月13日 事業者選定

- 凡例
- : 促進区域(事業者選定済/審査・評価中の計9区域)
 - : 促進区域(令和6年1月19日に公募を開始した2区域)
 - : 有望な区域(9区域)
 - ▲ : 一定の準備段階に進んでいる区域(8区域)
 - ★ : 基地港湾(5港)

再エネ海域利用法に基づく事業者公募スケジュールについて



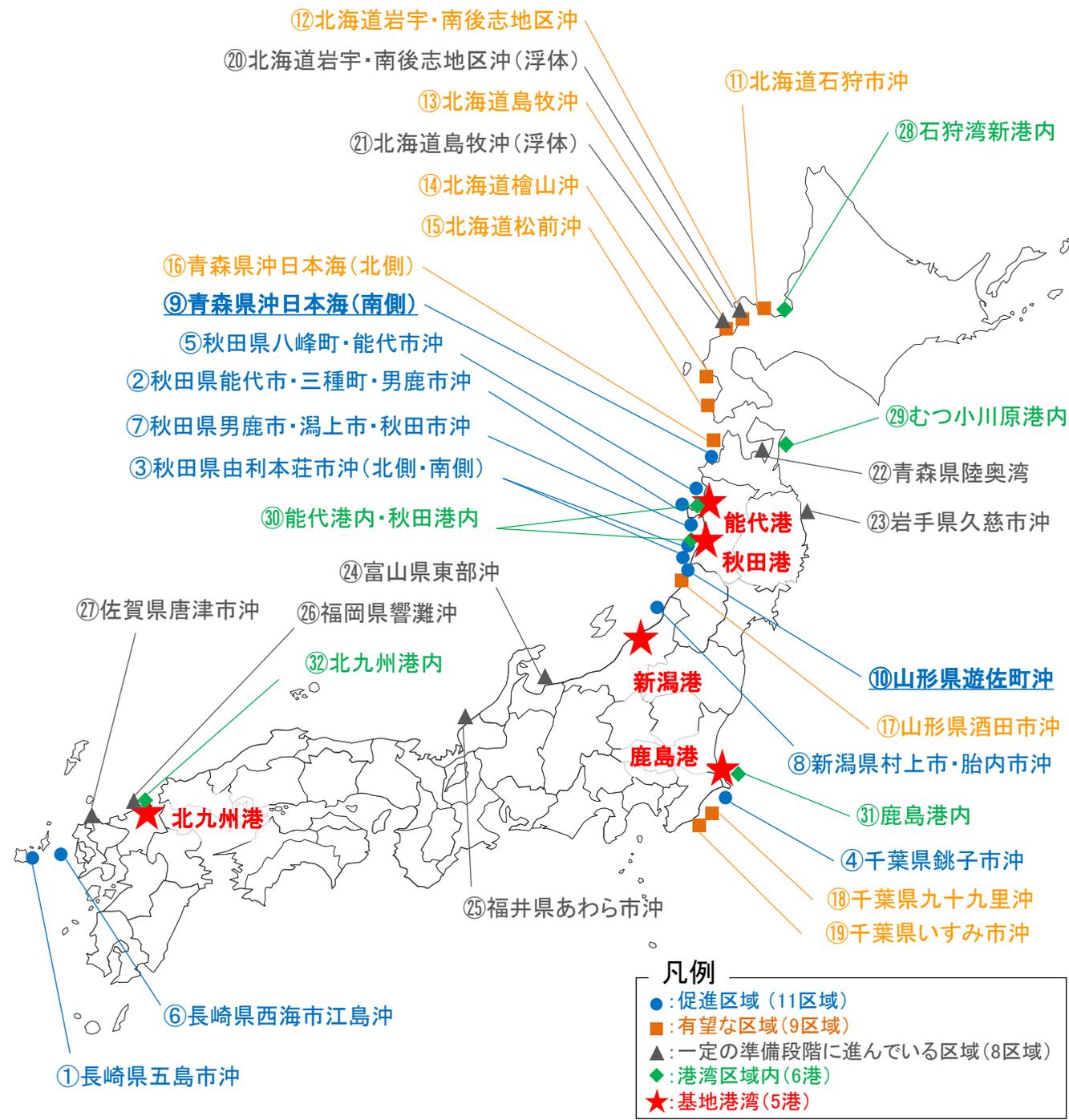
区域名	一定の準備段階に進んでいる区域	有望な区域	促進区域	公募開始	公募〆切	事業者選定
青森県沖日本海（南側）	R1.7.30	R2.7.3	R5.10.3	R6.1.19	R6.7.19	R6.12
山形県遊佐町沖	R2.7.3	R3.9.13				

←→ 公募受付 (6か月) ←→ 審査・評価 (5か月程度)

(※ 1) 都道府県が協議会の設置を希望し、利害関係者との調整に着手している等、将来的に有望な区域となりえる区域
 (※ 2) 協議会を設置し促進区域の指定に向けた協議を開始するとともに、国による調査を実施する区域

(参考)洋上風力発電に係る促進区域等の位置図(令和6年1月31日現在)

※太字下線は令和6年1月に新たに公募開始した区域



区域名	
促進区域	事業者選定済
	①長崎県五島市沖
	②秋田県能代市・三種町・男鹿市沖
	③秋田県由利本荘市沖(北側・南側)
	④千葉県銚子市沖
	⑤秋田県八峰町・能代市沖 [事業者選定評価中]
	⑥長崎県西海市江島沖
	⑦秋田県男鹿市・潟上市・秋田市沖
	⑧新潟県村上市・胎内市沖
	事業者選定済
⑨青森県沖日本海(南側) [事業者公募中]	
⑩山形県遊佐町沖 [事業者公募中]	
有望区域	⑪北海道石狩市沖
	⑫北海道岩宇・南後志地区沖
	⑬北海道島牧沖
	⑭北海道檜山沖
	⑮北海道松前沖
	⑯千葉県いすみ市沖
準備区域	⑰山形県酒田市沖
	⑱千葉県いすみ市沖
	⑲千葉県いすみ市沖
	⑳北海道岩宇・南後志地区沖(浮体)
	㉑北海道島牧沖(浮体)
港湾区域内	㉒青森県陸奥湾
	㉓鹿島港内
	㉔富山県東部沖
	㉕福井県あわら市沖
	㉖福岡県響灘沖
㉗佐賀県唐津市沖	
㉘石狩湾新港内(R6.1運転開始)	
㉙むつ小川原港内	
㉚能代港内・秋田港内(R5.1全面運転開始)	
㉛鹿島港内	
㉜北九州港内	

凡例

- : 促進区域 (11区域)
- : 有望な区域 (9区域)
- ▲: 一定の準備段階に進んでいる区域 (8区域)
- ◆: 港湾区域内 (6港)
- ★: 基地港湾 (5港)